

## 恩田の谷戸の竹林・小川・田畑の保全活動

恩田の谷戸ファンクラブ

神奈川県

### 1. 恩田の谷戸ファンクラブ活動エリアと活動内容について

恩田の谷戸ファンクラブ（OYFC）の活動場所は、鶴見川の支流のひとつの源流部を含む、雑木林に囲まれた小さな谷戸です。横浜市北部と町田市に隣接しており、東急田園都市線、小田急線、JR 横浜線に囲まれ、都心部へのアクセスも良いため開発が進み、地域に残る貴重な緑地や耕作地です。エリアのほとんどが私有地であり、活動は地主さんたちのご理解の元、メンバーと地主さんとの信頼関係に基づいて行われています。緑地や小川の保全活動、生き物観察を中心に、田んぼとしては条件が悪く地主さんが耕作しなくなった田んぼを代わりに耕作するなど、今ある環境を次世代に引き継ぐべく、活動を続けています

### 2. 2022 年 6 月～2023 年 5 月活動報告

#### ● 2022 年 6 月 5 日 田植えとホタル柵設置

梅雨入りも間近となり、2 枚の田んぼの田植えを行いました。

天気は予報が外れ思いの他好天の中、10 名の参加で源流田んぼから田植え開始、苗 3 本ずつを目安に植えてゆきました。1 枚目の田んぼの田植えは 40～50 分で終了、2 枚目の田んぼに移動しそちらも昼前には完了することができました。

6 月に入ってホタルが飛び始めており、暗い中ホタル見学者が道を逸れて畑や田んぼに踏み込むことが無いよう、柵を設置する作業を行い、30 分程度で終わらせることができました。その後小休止して解散となりました。

なおこの日は会員以外に、前夜ホタルを見に来ていた町田の 6 歳の男の子とお母さんの 2 人が飛び入り参加、田植えを手伝ってくれました。初めての体験だったそうで、とても喜んで帰られました。

#### ● 2022 年 6 月 19 日 田んぼの補植と草刈り、枝落とし

前夜の雨も上がって晴れ間がのぞくかなり蒸し暑い中、田んぼの苗の補植と周辺の草刈りを行いました。

参加者は 9 名、まず 1 枚目の田んぼから取り掛かり、かなり流されて隙間だらけになった苗の間に新たに苗を補いながら、同時に草取りも行っていました。その後は 2 枚目の田んぼに移り、同じく補植をしましたが、こちらは 1 枚目に比べればきちんと植わっていて作業は短時間で済みました。

その後は 30 分程度田んぼ周辺の草刈りや樹木の枝落としを行い、11 時半過ぎにはほぼ作業終了となりました。

この頃はホタルの飛翔のピークを迎えていたようなので、当初予定していた小川周辺の草刈りは自粛し、こちらは次回にまわしました。作業終了後は小休止して解散となりました。

● 2022年7月3日 ホタル柵の撤去と小川の草刈り

記録的に早い梅雨明けと短い梅雨、記録的な猛暑の最中、一旦は活動中止を考えたのですが、曇りかつ若干気温も低かった為、予定通り作業を実施しました。しかし実際はかなりの湿気、じっとしていても汗が出てくる状況の中、参加者は少なく3名のみで作業となりました。まずは盛況だったホタルの柵の撤去を先に済ませ、その後小川周辺の草刈りに取り掛かりました。現場は流れが全く見えないジャングル状態、当日の気候からして全部をやるのは難しく、1時間限定でやれるところまでやろうということで作業開始しました。集中して作業に取り組んだものの、小川の25%程度までで11時半となり、作業は終了としました。

その後は地主さんへの夏のご挨拶を行いました。

● 2022年7月17日 小川の草刈りと田んぼの取水口整備

6名の参加により、前回の続きで小川周辺の草刈りと、田んぼの取水口整備を行いました。梅雨の戻りで涼しい日が続いていましたが、この日は久しぶりに晴れ間も見え、湿度も高くとても蒸し暑い中での作業となりました。

草刈りと取水口整備の2班に分かれ、約1時間強11時半頃まで作業を行いました。小川の草刈りは一部を残しほぼ9割が完了、田んぼも水の流れを整えて、豊かな水量を確保することができました。水たっぷりの田んぼの中ではオタマジャクシが元気に泳ぎ、その上をトンボ達が多数飛び交っていました。その後はいつも通り広場にて小休止して解散となりました。

● 2022年8月9日 正月飾り作り準備

ここ数年暮れにお正月飾り作りを行ってきました。午前中にしめ縄リース作り、午後には飾り付けをしていましたが、毎度時間が足りませんでした。午後のお飾りの材料をある程度まで作っておけば、心置きなくリースの飾付を楽しむことができるのではないかとということで、作業が厳しい盛夏のうちに、水引の梅飾り作りと御幣を大きな和紙から一枚ずつの紙に切って線を引くところまでやってみることにになりました。暑さとコロナの中でしたが、9名の参加で試行錯誤しながら午前中いっぱいなごやかに作業を行いました。

午後からは谷戸に移って、緑陰で谷戸の稲を中干しさせるか否かの相談やナラ枯病の木は利用できないかという妄想など語らいました。私たちの田んぼの稲もよく伸びていました。

● 2022年9月4日 田んぼの草取り、柵の清掃、小川の草刈り

残暑厳しい真夏日の中、5名の参加で田んぼの草取り、柵の清掃、小川の草刈りと盛りだくさんのメニューを行いました。田んぼは稲と同程度の背丈となった雑草がはび

こり、まずこちらを綺麗に除去、その後小川に移って柵の中にたまった土砂を綺麗に除去、さらに残りの時間で小川周辺の草刈りと下流部の土砂とゴミの除去と、少人数にも関わらず短時間で、かなり成果をあげることができました。

作業は順調にお昼前には終了、解散となりました。蒸し暑い1日でしたが、時折涼しい風が吹き抜け、谷戸は夏の終わりを告げるツクツクハウシが賑やかに鳴き盛り、季節の交代を感じさせるひとときでした。

● 2022年9月18日 台風の影響により中止

● 2022年10月2日 竹の伐り出しと田んぼの草刈り

10月にも関わらず真夏のような強い日差しの中、6名の参加でハザ用の竹の切り出しと、田んぼ周辺の草刈りを行いました。

地主さんに許可をいただき、まず竹林から中位の竹4本程度切り出し、田んぼまで運びました。作業は手早く30分程度で終了。

その後は田んぼ周辺の草刈りを行いました。全体的に草刈りは遅れ気味で、現場は隣の未耕作の畑の巨大な雑草が倒れて通路を塞ぐなどありましたが、雑草と格闘すること1時間弱、なんとかさっぱりと風通しのいい田畑に戻すことができ、小休止して解散となりました。

暑いとはいえ木陰に吹く風はやはり秋、その時突如ナガサキアゲハという黒いとても大きなアゲハ蝶が飛来、参加者の頭に停まるというなんともどかな光景もありました。

● 2022年10月16日 ハザ作りと稲刈り

この日はお子さんを含め延べ10名の参加で、2枚の田んぼの稲刈りを行いました。この時期らしい秋晴れに恵まれ、稲刈りには絶好のコンディションとなりました。

まず前回切り出した竹でハザ作りからスタートし、田んぼの稲刈りを進めました。小さな田んぼなので、手際良く20分程度で終了、その後もう1枚の田んぼに移動しました。こちらの田んぼは稲の成長がいまひとつで、刈り取りの延期も検討しましたが、日程変更もなかなか難しく、一気にやってしまうこととなりました。こちらの田んぼは水気が多く、上半分は特にぬかるんでいる為足が深く潜り、最初に刈った田んぼに比べると倍のエネルギーを必要とし、体力的にはかなり厳しい作業となりました。しかしなんとかお昼前には全て終了、解散となりました。

● 2022年11月6日 脱穀（横浜里山レンジャーズ受け入れ）

この日は前回刈り取った稲の脱穀を行いました。参加者は会員9名、横浜里山レンジャーズからはお子さんを含め10名の延べ19名でした。約3年ぶりのレンジャーズ受け入れということで、秋晴れの好天の中、久しぶりの賑やかなイベントとなりました。

例年通り足踏み脱穀機と唐箕を農家からお借りし、基本的にレンジャーズの皆さんに作業やっていただく流れで進めていきました。レンジャーズの皆さんは野外活動の経験が豊富な方が多いので、飲み込みも早く、順調に作業ははかどり、ほぼお昼ちょうど

に作業は終了しました。

米の出来栄としては、ここ数年の中では、特にうるち米がまずまずの収穫量ではなかったかと思えます。その後はレンジャーズの皆さんを小川の源流方面にご案内し、隣の谷戸で収穫した柿をお裾分けして解散となりました。

● 2022年11月20日 お正月飾り作り

前日の段階では天候が危ぶまれましたが、午前中は何とか持ち堪えたため、例年の“お正月飾り作り”が行われました。

まず、稲わらの皮むきを、とにかく雨が降る前にやっつけてしまおうと全員でとりかかると、途中で農家の森田さんがやっつけて来て、今年も「一本ずつ皮むいてたらいつまで経っても終わりゃしないよ」とお手本をやって見せてくれました。お礼を言ってやるのですがなかなか同じ結果になりません。

次に寺家のアレックスさんから借りたワラ打ち機に掛けて柔らかくしたワラを振って丸いリースの形を作ります。初参加の小3男子も機械のハンドルを回し続けます。ここでオレ達の出番と男性陣が力強く振りを掛け、次々と輪に作りました。

午後からは場所を横浜市恩田地域ケアプラザへ移動、夏の間で作っておいたお正月の飾りをリースに付けて完成させました。会員外の方々も、自作のお正月飾りに愛着も生まれて満足なご様子でした。

● 2022年11月27日正月飾りづくり補完（臨時作業）

陽を浴びると汗ばむ暖かさの中有志が集まり、たくさん残っていた稲わらを使ってお正月飾りのリース作りを行いました。雑木林の斜面からウグイスの地鳴きがよく聞こえる冬の麗かな日、5人で26個のリースを作りました。

● 2022年12月6日 しめ縄仕上げ作業

まだ濡れていた大量のしめ縄はエアコン前で3日間干し、OPP袋に入れて曇らない程度に乾かしたうえで、仕上げ作業を行いました。山のように出来上がったしめ縄は、会員農家の野菜の直売と、農園のイベント販売などですべて完売、貴重な活動資金を得ることができました。

● 2022年12月11日 道具箱の整理と落ち葉掻き、ミニ望年会

穏やかな冬晴れの中、一年最後の活動日として、道具箱整理と落ち葉掻き、焚き火を囲んでのミニ望年会を行いました。

参加者は延べ10名、まず道具箱の整理からスタートしました。広場の落ち葉掻きの後は焚き火ですが、最初着火がなかなか上手くいかず苦戦したようです。しかしお昼前には立派な焚き火に成長、差し入れのさつま芋、里芋などをくべて、焚き火を囲んで楽しい年末のひとときを過ごし、13時半ごろ解散となりました。おかげ様で大きなトラブルも無く、無事一年を終了することができました。

● 2023年1月15日 焚火を囲みミニ新年会

焚火を囲みミニ新年会を行いました。8人の参加で、穏やかに楽しい時間を楽しみました。サツマイモ、サトイモを焼いて、谷戸で採れたお米で作ったオニギリ(谷戸の黒豆で作った手作り味噌添え)を久しぶりに食べる事ができました。

● 2023年1月29日 徳恩寺にて総会  
13時より、徳恩寺にて総会が行われました。

● 2023年2月12日 雑木林広場の片付け  
春らしい日差しで暖かな日となりました。会の最初の活動として、雑木林広場の一角にしばらく置きっぱなしにしていた、使い残りの木材を整理する事にしました。ほとんどが持ち上げると割れるほど朽ちていたので、しばらく乾燥させてから後日燃やす事にし、空いた場所は堆肥場にする事にしました。

朽木の間で多分ツノホコリの仲間と思われる、真っ白な変形菌(粘菌)を見つけました。他に丸々としたカブトムシの幼虫、クワガタの幼虫、10センチ以上ありそうなムカデが多数、5.6センチの動かない太いヒル2匹、頭が半円形のコウガイビル2匹などなど、久しぶりに生き物観察ができました。ブルーシートを山ほど畳んで終了しました。

● 2023年2月26日 小川の柵の清掃  
冷たい北風が吹きつつも、空は快晴、日差しに春を感じる中、延べ5名の参加で小川の柵の清掃を行いました。

柵を開けてみると、一見土砂は見えず、問題なさそうに思えましたが、やってみるとしっかり土砂はたまっており、人手は少ないながらも40分程の作業でほぼ取り除くことができました。この作業に先駆けて小川のメンテナンスに関する調査を行ったところ、2~3箇所補修が必要と思われる箇所が見つかり、必要な資材を購入し対応する計画を建てました。

● 2023年3月12日 小川の補修  
風もなく穏やかな小春日和の中、7名の参加で小川の護岸補修を行いました。ここしばらく小川の補修は行っておらず、その間ところどころで土留めの杭、矢板の腐食と土圧によって、護岸が崩れてきてしまっていました。全ての崩れを1日で直すのは無理なので、新たに購入した矢板の分でできる森側の約5箇所位を行うことにしました。

まず崩れた部分の土砂と既存の腐食した矢板等を取り除き、整地して新たに矢板をはめ込んで杭で留めてゆくのですが、長年補修を繰り返してきた為、取り除けない杭や矢板がいくつもあり、工事は難航しました。しかし皆で試行錯誤の末、なんとか11時半頃には格好をつけることができ、解散となりました。

● 2023年3月26日 雨天中止

● 2023年4月9日・23日 伏せ焼き準備(竹伐り・竹割りなど)

5月の伏せ焼き準備として、4月9日(日)に竹を伐採し、4月23日(日)竹を割る

竹割班と伏せ焼きの現地の草取り班との2グループに分かれて作業を行いました。8名の参加により11時30過ぎには広場もきれいになり、伏せ焼きの穴を掘って状態を確認し、当日すぐに伏せ焼きが開始できるよう準備しました。その後いつもの休憩場所に戻り、皆でよもやま話などして12:30前には解散となりました。

● 2023年5月6日・7日 伏せ焼きは中止、竹細工の練習と田んぼ種蒔き

5/6(土)、7(日)は伏せ焼きの予定でしたが、当日は非常に風が強く、火を扱うのは危険と考え、関係者で相談の結果中止としました。

伏せ焼きは中止でしたが、竹細工の練習と稲の苗代作りは予定通り実施しました。助成金を得て購入した竹細工用の小刀、ナタなどを用い、来年以降開催予定のWSのプログラムを考えながら様々な製品の試作を行いました。箸、コップ、皿などが比較的作りやすく、その場ですぐに使用できるため、イベントでは良いのではないかという結論となりました。

その後お子さんと会員の知人を含めて15名ほどで苗代班と田の草取り班とに分かれて作業を行いました。苗箱8個をうるち米、1箱を黒米にして種を蒔きました。

作業終了後、いつもの休憩場所でゲストの方からの差し入れのかりんとうを食べながらの雑談をして解散となりました。

● 2023年5月14日 田植えとホタル柵の設置

前日までの台風による大雨もあがり、久しぶりに朝から青空が広がる中、オブザーバー参加の女性2人とそのお子さんを含む3名及び会員8名の計11名の参加により田植えを行いました。

まず片方の田んぼに保管していた苗の一部をもう1枚の田んぼに運びましたが、田んぼの水は前日の雨の影響もあって充分だったものの、土の凹凸が激しく、それを整地することからのスタートとなりました。場所によっては水が深く、苗が水没しそうなどころもありましたが、ならししながら1時間程で無事終了、その後は最初の田んぼに移って田植えにとりかかりました。こちらは水も浅くお子さんも作業に参加、順調に黒米2面、うるち3面の田植えをほぼ12時頃に終わらせることができました。

その後は広場にて一度仮締めとし、残った5名でこの時期恒例のホタル柵の設置を行って、13時半頃解散となりました。

今年の田植えは例年に比べて早めなこと、かつ苗がとても良いできなので、秋の稲のでき映えがとても楽しみです。

3. 2022年6月～2023年5月活動の写真と谷戸の自然

◎ 2022年6月5日 田植えとホタル柵設置



6歳のお子さんと飛び入りで参加がありました



田植えのあと片付け

◎ 2022年6月19日 田んぼの補植と草刈り



前月見つけた卵から孵ったガビチョウのヒナ

◎ 2022年7月3日 ホタル柵の撤去と小川の草刈り



草刈り前



草刈り後

◎ 2022年7月17日 小川の草刈りと田んぼの取水口整備



草を刈っても2週間で元に戻ります



水は回復したが稲の生育は遅れ気味



◎ 2022年8月9日 正月飾り作り準備



飾りの御幣用の和紙、販売用台紙をカット



ナラ枯れの樹が目立つようになり、ビニールを巻いて対策を試みている

◎ 2022年9月4日 田んぼの草取り、枡の清掃、小川の草刈り



稲が草に埋もれ見分けがつかないほど



小川の草刈り、大雨で流入した土砂の除去

◎ 2022年10月2日 竹の伐り出しと田んぼの草刈り



ハザ用の竹を伐り田んぼに運ぶ



隣の未耕作地は人の背丈を超えるほどの草に覆われている

◎ 2022年10月16日 ハザ作りと稲刈り



稲刈り



運んでおいた竹でハザを作り稲を干す

◎ 2022年11月6日 脱穀（レンジャーズ受け入れ）



横浜里山レンジャーズの皆さんと足ふみ  
脱穀機と唐箕を使う



大正時代製？現役の足ふみ脱穀機

© 2022年11月20日 お正月飾り作り



地主さんに藁の皮むきを教わる



藁打ち機にかけると藁が柔らかくなる

© 2022年11月27日 正月飾りづくり補完



藁でリースを大量に作る

◎ 2022年12月6日 しめ縄仕上げ作業



エアコン前で3日間乾燥させる



形を整え飾りをつけて完成

◎ 2022年12月11日 道具箱の整理と広場の落ち葉掻き / 2023年1月15日 焚火



落ち葉を掻き、焚火を囲んでミニ望年会



焚火で焼き芋

◎ 2023年2月12日 雑木林広場の片付け



直径10数cmほどのツノホコリの仲間と思われる真っ白な変形菌(粘菌)

◎ 2023年2月26日 小川の柵の清掃



小川の井に溜まった土砂をさらう



春間近、てんとうむしが姿を見せる

◎ 2023年3月12日 小川の補修作業



まず既存の腐食した矢板等を取り除く



取り除けない杭や矢板もあり工事は難航

◎ 2023年3月12日 小川の補修作業



新しい板をあてがい、杭で押さえていく



杭を打ち込み隙間を土で埋める

◎ 2023年3月12日 小川の補修作業



小川の片側の補修が終了

◎ 2023年4月9日 伏せ焼き準備(竹伐り)



竹を伐り長さをそろえる



竹をかついで一般の歩道を運ぶ

◎ 4月23日 伏せ焼き準備（竹割り、草刈りなど）



竹を4つに割り乾燥させる



伏せ焼き予定地の穴を掘り状態を確認

◎ 2023年5月6日・7日 竹細工の練習と稲の種蒔き



箸、コップ、皿など食器中心に試作



小刀、のこぎりなど購入できました！

◎ 2023年5月14日 苗代の世話



苗代の状態を確認、鳥よけのネットを張る